

図書館だより

休館日…毎週月曜日・12月2日(木)
 祝日開館日…23日(木) 9時～17時
 年末年始休館日…12月27日(月)～
 1月4日(火)

12月12日(日)～26日(日)は、本・雑誌に限り貸し出しの冊数制限をしませんので、たくさんご利用ください。

◆冬のおはなしを楽しむ会

大型絵本やパネルシアターなどで、おはなしを楽しみましょう。
 日時…12月4日(土) 15時～15時45分
 会場…八日市場図書館2階集会室 対象…
 1人で静かにおはなしを聞くことができる
 4歳からの児童 参加費…無料

◆通常の「おはなし会」 (八日市場図書館)

11・18・25(土) 15時から約30分間
<http://www.library.sosa.chiba.jp>
 問 八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

訂正とおわび
 広報11月号文芸コーナー、浜野隆志さんの俳句に誤りがありました。下記の通り訂正しておわびいたします。
 【誤】雲間より光り差したり崩れ築
 【正】雲間より光り差したり崩れ築

俳句
 赤蜻蛉(とんぼ)今日(こんにち)はどこまでいったやら 春海 浜野 隆志
 西野 棠雨 推薦
 ふたたびを庭一面に匂ひ咲くハーブセイジの濃し 今泉 熱田千代子
 部活動のテニスラリーの練習の小気味よき音秋空高し 野手 伊橋 良子
 カーエアコン通り来れるしるき香は金木犀か秋の深まる 野手 石田 秀子
 山間の煙るがごとき雨の中語る人なくバスに乗り居る 野手 佐藤 晃子

市政の窓 No.9



月日の経つのは早いものです。特に私のこの1年は、近年最も早かったと感じています。昨年のごろ、熱き志を抱き同志の方々とともに市内全域に足を運び、明日の匝瑳市づくりを訴えていたのがつい昨日のことのように思えます。本年はすべてが新体験であるがゆえに、先輩方や関係者のアドバイスをいただきながら全力で突っ走ってまいりました。悔いの無い1年を締めくくるため、この1か月はさらに努力してゆく覚悟

師走に思う
 リスマスは枕上の靴下だけが楽しみでありましたが、現在はサンタクロースの正体がばれて、直接プレゼントを受け渡す時代です。サンタ役の親御さんは大変でしょうが、お子様の夢を叶えるため、一踏ん張りお願いいたします。

先日、匝瑳市の次世代を担う中学生による模擬議会が市議会議場で行われました。中学生の目線で見て考えた新鮮で鋭い質問を9名の方々からいただき、市の現状を踏まえた上で答弁をしました。真剣に物事をとらえる心をこれからも養って欲しいものです。
 また、新議員さんによる12月定例会市議会が3日から17日まで開催されます。多くの方が議場へ足をお運びください。市政に関心を深めていただければうれし限りです。
 市民の皆様が良き1年であること、師走でのご活躍を心よりご祈念申し上げます。
 匝瑳市長 太田安規

文芸コーナー

短歌
 三月余を手塩にかけし黒豆の莢彫らむをそと撫でみる 龜崎 青木 秀子
 亡き母とあまた茸を取りたりきかの松山は今も残るや 平木 戸村とき子
 白芙蓉大きく育ちて日々数多咲き継ぎ風に清しくなびく 八日市場イ 山崎 朝子
 老い二人の家の番する老犬は裏戸を開けるやすばやく跳びくる 上谷中 林 かつ
 恙なき老いの幸ひ思ひつつ今日も事なく地下足袋を脱ぐ 久方 大木よ志子
 「お月さま」はと幼に問へば一心に指さす方に十五夜の月 高野 鈴木 知子
 彼岸花細くて長い花びらの降る雨の中赤々と燃ゆ 上谷中 林 房子
 喪服の夫親友送る共にせし中国の旅香港の灯を懐かしみつつ 荻野 川口 登喜
 川口 城司 推薦

奈良の仏

匠探訪

— 55 —

2010年(平成22年)は、710年に都が奈良・平城京に移って1300年の節目にあたりました。奈良市を中心に平城遷都の記念イベントで盛り上がりました。

本市の名誉市民第1号・故大川逞一さんが奈良・薬師寺におさめた玄奘三蔵像もテレビ番組で放映されたので、今年の締めくくりに大川さんを偲ぶことにします。

大川さんは1899年(明治32年)八日市場に生まれ、東京美術学校(現在の東京芸術大学)に学んだのち同校の

推薦で奈良・法隆寺に行き、そこで10年ほど仏像彫刻や研究に没頭され、美術雑誌などに寄稿されていました。

今年春から新潟、東京、奈良の美術館で「奈良の古寺と仏像展—會津八一のうたにのせて—」と題する展覧会がありました。歌人であり、書家、美術史家でもあった會津さんと大川さんは交流があり、法隆寺での様子が歌に詠まれました。

「法隆寺福生院に雨やどりして大川逞一にあふ
そうぼうのくらしにのみ
を うちならし
じおんだいしを
きさむひとかな」

玄奘像は多くの人に参拝されています
昭和13年秋早稲田大学生の引率で法隆寺を訪れた會津さんが、薄暗い僧房で慈恩大師像を刻む大川さんを詠み、歌集『鹿鳴集』に収められました。早稲田の学生の中に八日市場の

人がいて、故郷に思いをはせたと聞いたことがありました。戦後は活動の舞台を郷里八日市場に移されました。

筆者が仕事を通してご自宅にお邪魔するようになったのは、昭和40年代半ば、大川さん70歳ごろのことで、晩年ともいえる70歳半ばから代表作の制作に取りかかれました。玄奘三蔵院伽藍は平成3年3月に落慶法要され、大川さんも参列されました。

完成まで10年近い歳月を費やし、大川先生の最晩年そのものと評される「釈迦苦行像」は、先生が93歳で亡くなったあと薬師寺の東塔(国宝)に納められました。

薬師寺玄奘三蔵院伽藍は、平城遷都1300年記念としてほぼ1年を通して特別公開されました。本尊に祈る多くの参詣者を目にとると、制作中の大川先生の生前の姿と話されていたことがよみがえります。

奈良に納められて30年、八日市場で造られた像は、すっかり古都に溶け込んで「奈良の仏」となったことを実感しました。

問 八日市場図書館 ☎ 73・3746

言はなくてよかった本音秋の空
砂浜に今朝の足跡神の旅
小春日や漁港に古き海難碑
願いごとあとにしようか神の留守
海鳴りの聞こえる日なり枯蟬
猫好きの文人住みし冬日向
白菜を割って塩振る古厨

高	伊藤 友子
上谷中	太田三樹夫
蕪里	山崎 伸
飯 高	安藤 建子
八日市場ハ	大川 宜子
八日市場イ	菅谷たけし
飯 塚	及川 春子

わが旅に求めし楓夕紅葉
小春日や髪整えて孫就職
苦うるか好む遺伝子三代目

栢 田	加瀬 潔子
堀 川	高野 操
栢 田	櫻井富実雄

川柳

高梨 果宝 推薦

電車から磯の香りを肌で嗅ぐ
紅葉に我が生涯を重ね見る
クラス会昔の乙女はしゃぐ旅
湯の宿で話がはずむ出会い旅
部屋割が幹事泣かせの女性旅
峡谷のあんなところから湯の煙
秋雨に矢切の渡し霽の中
様変わり戸惑うことの八十路旅

八日市場イ	関川 幸子
八日市場イ	常世田やす子
飯 高	林 サダ子
平 木	平山 右
八日市場イ	森 あつし
八日市場イ	河野十九人
春 海	久米 喃喋
飯 塚	鈴木ツネ子

川 口 城司 推薦

週二回夢の天国紙ふうせん
川 辺 加瀬 きよ

匠探訪

あて先： 匠探訪事務局
〒289-2198
匝瑳市八日市場ハ793番地2
☎ 73・0080 FAX 72・1114